



©Tatuo Watanabe

# で、 「変わらない」ことが リスクになる時代へ



NPO法人AlonAlon理事長  
A&A株式会社代表取締役社長  
一般社団法人Get in touch理事  
**那部智史**

「この世の中は「健常者」が支配しております。「健常者」はあるところに線を引き「障害者」をつくりました。当然「健常者」は利益の高い仕事を独占し、「障害者」には利益の低い仕事を回します。それは「何もできない」という理不尽な理由からです。」

講演する際には必ずお話しているフレーズです。福祉の仕事の経験も無い私が、就労継続支援B型事業所（以下、就Bと略）AlonAlonオーキッドガーデンを開設した根っこにある問題意識です。

大学を卒業して結婚し、息子を授かった時に私の転機が訪れました。重度の知的障害だったのです。その事実を受け止めることができず、鬱になり、自身の行き場を失った時期もありましたが、起業して仕事に打ち込むことで自分を取り戻すという選択をしたのが29歳の時でした。会社は順調に成長し社員も100名を超える、当時の言葉で「IT社長」となった私は、恥ずかしながら40歳になって初めて大事なことに気付くのです。「息子は何も悪くない、悪いのは息子のような障害者を受け入れ

ることができない社会の方だ」「迷惑をかけるから」と息子を社会から隠そうとしている浅ましい自分に気付いたのです。すぐに経営していた5つの会社をすべて売却して、息子のような障害者の経済的自立を実現するNPO法人AlonAlonを設立いたしました。

AlonAlonの活動は大きく分けて2つあります。1つはロビー活動です。NPOを設立してすぐに国会議員連盟の組織に着手いたしました。会社経営者時代に支援していた国会議員を中心に超党派で「障害者の自立のために所得向上をめざす議員連盟（障害者所得倍増議連）」を設立いたしました。当初は40名ほどの議連でしたが、現在では100名以上の国会議員が加盟し、国政に様々な声を届ける活動を行っております。

もう1つは就Bの運営です。「就労」を「継続的に支援」するんだよね？なのに就Bから企業への就労率が1%って絶対にオカシイ。「月額平均工賃は15,000円」、障害年金を合算しても生活保護の受給額より少ない、これも絶対にオカシイ。就Bの利用者は約30万人、工賃の総額は540億円。全国の就Bに拠出している国家予算は3,000～4,000億円。「就Bなんてやめちゃえば障害者に毎年100万円以上配れるよね」、なんて暴論が出てもおかしくない状況。一石を投じる想いでAlonAlonオーキッドガーデンを開設いたしました。

「なぜ胡蝶（こちょう）蘭（らん）？」必ず質問されます。10年間の会社経営で、社員3名から始めた私の会社は100名を超える大所帯になりました。当然のことながら事務所の移転が繰り返されます。お察しの良い方ならおわかりかと思いますが、移転のたびに取引先から山のように胡蝶蘭が届きます。足の踏み場もないくらい届きます。当然こちらも先方の慶事には必ず同等の胡蝶蘭を贈ります。価格は30,000～50,000円、値引きなど野暮なこともしません。「こんな仕事を障害者の仕事にしたい」、そんな気持ちを当時から持っておりました。そして事業計画を立てている時に、胡蝶蘭名人を名乗る人から「障害者に胡蝶蘭栽培は絶対に無理」と断言されたのですが、その名人を冷静に観察した結果、皮肉にも「絶対にできる」と確信したのです。

「就Bの工賃は、作業場の投資額に比例する」、これは私の揺るぎのない持論です。仮に皆さんがテーブル1つ与えられて「金を稼げ」と言われたらいかがですか？私でも月額平均工賃くらいしか稼げないと思います。

AlonAlonオーキッドガーデン開設に用意した1億円の内6,000万円を作業場（温室）に投資いたしました。年間1万本の胡蝶蘭を栽培し、東京、横浜、名古屋、大阪、福岡の物流センターより全国にお届けしております。ご注文をいただける企業様も2019年7月現在で1,500社を超えました。利用者の工賃は胡蝶蘭の栽培技術や日々の生活態度、仲間との関係など、多岐にわたる評価を毎月行うことにより決定されます。月額工賃の最高額は10万円、新人利用者でも30,000～40,000円は支給されます。

実は工賃が上がらない特有の理由が1つあります。それは、栽培技術をマスターした利用者は次々と就労するからです。お花を注文していただく企業の中には大企業も多く含まれております。そんな企業に「お花を買うのではなく、障害者就労を実現して花の自社栽培をしませんか？」と提案しております。2019年に帝人株式会社はグループ企業全体の慶弔花を自社栽培するために特例子会社帝人ソレイユを設立、AlonAlonの指導の下、千葉県我孫子市に胡蝶蘭温室を建設いたします。生活介護事業所に通っていた一人の女性は「花が好き」とAlonAlonオーキッドガーデンで1年間一生懸命働いた結果、帝人の社員となりました。このような就労引受企業が現在4社あるのです。



「定員20名のちっぴけな就Bに何ができるか」とよく言われているようです。しかしながら「ちっぴけな就Bでもここまでできる」と知ってもらおうことが我々の使命だと思っております。

profile  
那部智史（なべ さとし）  
1969年 東京都生まれ  
2000年 IT企業を起業、10年間で取扱高400億円成長させる  
2012年 知的障害をもつ息子の特別支援学校入学をきっかけにAlonAlonの事業構想に至る  
2013年 NPO法人AlonAlon設立、障害者所得倍増議連設立  
2017年 AlonAlonオーキッドガーデン開設、A&A株式会社設立

※本稿が届いた後、9月上旬の台風15号による停電で、オーキッドガーデンの胡蝶蘭約5,000株の苗が全滅。復活に向け、奮闘されている利用者・職員、そして那部さん、みなさんの夢が実現することを心から応援しています。